



虚空蔵山城



本丸（主郭）

所在地：石川県能美市和気町・下館町

別称：白米城、和気山城、館城

立地：丘陵頂部、標高138m

城主：富樫幸千代、荒川市介・長山九郎兵衛

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

「黒岩」と称する数個の巨石がある古代山岳信仰の山である虚空蔵山に占地する。梯川の支流である鍋谷川と館谷川が合流する地点の北側に突き出す丘陵に築城され、東南方以外は視界を遮る山もなく、麓の集落や加賀平野を一望することができる。



大手道（遊歩道）

北加賀守護の富樫幸千代の本城であったが、文明6年（1474）の文明一揆で南加賀守護で兄の政親に攻められ落城した。その後一向一揆の居城となっていたが、天正3年（1575）織田方の柴田勝家が越前一国を領すると、一向一揆鎮圧のため加賀に侵攻し、佐久間盛政によって落城した。「織田軍記」では、この時一揆方の荒川市介（金剛寺三郎右衛門）が立て籠っていたと伝えている。天正8年（1580）、一揆方の荒川市介・長山九郎兵衛が取り戻して籠城するが、柴田勝家に謀殺され他の一揆方首級とともに安土に送られている。



搦手道を監視する土壘

頂上部の主郭を中心に7箇所の平坦地があり、うち主要な4箇所は本丸、二の丸、馬場、大手門と呼称されている。和気小学校の裏から遊歩道になっている大手道を上ると、土壘を築き石垣で固める大手門が行く手を阻む。本丸と呼ばれる主郭は大手から至る虎口の両側に櫓台を伴っている。二の丸はほぼ全周に土壘とV字に深く掘り込まれた薬研堀を巡らし、虎口櫓台



本丸から加賀平野の展望

には石垣が残っている。



大手門石垣（崖側に大きな自然石の石積みを見られる）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>